

令和 7 (2025) 年度
山梨県高等学校新人体育大会
「卓球競技」 (学校対抗の部)

*期日／ 令和 7 年 1 0 月 2 5 日 (土)

*会場／ いちのみや桃の里体育館 メインアリーナ

- 主催／山梨県教育委員会・山梨県高等学校体育連盟
- 後援／(公財)山梨県スポーツ協会・(一社)山梨県卓球協会
- 主管／山梨県高等学校体育連盟卓球専門部

所属	氏名
----	----

◎大会日程

1 0 月 2 5 日(土) 学校対抗	
8：30	選手集合
8：50まで	1試合目オーダー用紙提出（8：50までに）
9：00	開会式 1 専門部長あいさつ 2 競技上の注意 3 選手宣誓（駿台甲府高校） 4 諸連絡
9：20	競技開始 男女学校対抗 トーナメント，決勝リーグ
17：00	競技終了 清掃・片付け
17：30	解散

◎山梨県新人大会 学校対抗の部 栄光の足跡

年度	男子				女子			
	優勝	2位	3位	4位	優勝	2位	3位	4位
H26	日本航空	甲府商業	富士北稜	甲府工業	日本航空	吉田	甲府商業	富士河口湖
H27	日本航空	吉田	甲府商業	富士北稜	日本航空	甲府商業	駿台甲府	富士河口湖
H28	日本航空	甲府工業	日大明誠	甲府商業	日本航空	吉田	甲府商業	甲府南
H29	日本航空	甲府工業	甲府商業	吉田	日本航空	吉田	甲府商業	日川
H30	甲府工業	日本航空	都留	甲府南	日本航空	甲府西	甲府商業	山梨
R1	日本航空	甲府工業	富士北稜	甲府南	日本航空	甲府西	甲府商業	塩山
R2	日本航空	甲府工業	甲府南	富士北稜	甲府西	甲府商業	塩山	甲府第一
R3	甲府工業	日本航空	日大明誠	甲府南	日本航空	甲府商業	甲府西	笛吹
R4	甲府工業	日本航空	甲府商業	日大明誠	日本航空	甲府商業	甲府昭和	吉田
R5	日本航空	甲府工業	都留	甲府商業	日本航空	甲府商業	山梨学院	甲府西
R6	甲府工業	甲府南	山梨学院	甲府商業	日本航空	山梨学院	甲府商業	甲府南
R7								

◎開会式前の一斉練習計画

- ① 会場設営放送の指示があるまで競技フロアに降りない。
 ② 1校1台とする。（男女校2台(どちらかがオープン参加の場合は1台)、単独校1台とする）
 ③ コート割

		前半・後半の練習時間は当日指示する								
体育館入り口	進行席	前後	1	2	3	4	5	6	7	8
			韮崎都留	韮工都留	甲一興譲	甲一吉田	甲西吉田	甲西北稜	甲南北稜	甲南河口
		前後	9	10	11	12	13	14	15	16
			甲東甲商	甲東甲商	甲工甲陵	昭和甲陵	昭和清和	農林駿台	農林学院	巨摩学院
		前後	17	18	19	20	21	22	23	24
			巨摩航空	笛吹航空	日川明誠	日川なし	山梨なし	塩山なし	塩山なし	使用禁止

＜競技上の注意＞ 顧問の先生は、選手に周知させてください 新人大会(学校対抗)(R7/10/25)

1 適用ルール

- ☐ 現行の日本卓球ルール(1 1 本 5 ゲーム)
- ☐ 1・2 番のシングルスに出場するペアで 3 番ダブルスを組むことはできない。
シングルスに重複して出場することはできない。
4～6 人でオーダーを組むことができる。
外国人留学生は、1 試合につき 1 名が 1 度のみ出場できる。
- ☐ ゲーム開始前の正規の練習は 1 分間※ 1, ゲーム間の休憩は 1 分間 (試合を滞らせない)

2 服装

- ☐ ユニフォームは J T T A 公認赤ワッペンがついているものとする。
ただし、広告付きユニフォームは使用できない。黒または白ワッペンのユニフォームも使用できるが、胸元に白色が集中しているものは使用できない。
- ☐ 今年度の日本卓球協会のゼッケンを着用する。(ゼッケンを忘れずに持参すること)
- ☐ 学校対抗は同一のユニフォームを着用
→ユニフォームが揃わないチームの監督は審判長許可を得る。

3 サービス (正しいサービスをだすこと)

- ☐ フリーハンドの手のひらを開き, その上につかむことなく自由に転がる状態でボールをのせ, 静止させる。この状態からサービスは開始される。
- ☐ ボールに回転を与えることなく, 手のひらを離れてから 1 6 c m 以上ほぼ垂直に投げ上げ, ボールが落下する途中を打球する。
- ☐ サービスを開始してから, ボールが打たれるまでの間, ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で, かつ, サーバー側のエンドラインよりの後方になければならない。
- ☐ またその間, サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物でボールをレシーバーから隠してはならない。
- ☐ ボールが手のひらから離れたらすぐにフリーハンドと腕をサーバーの体とネットの間の空間の外に出さなければならない。

4 進行

- ☐ 1 回戦から準々決勝までトーナメント方式, それ以降ベスト 4 による決勝リーグ戦
- ☐ **勝敗は 3 点先取 (1 回戦からすべて)**
- ☐ 2 台進行の場合, 5 番が 4 番より先に終了した時点で, 勝敗が決着した場合は, 勝ったチームの 4 番を負けとする。(記録は 3-2 となる) ただし, 1-4 位順位決定リーグは適用しない。
- ☐ 2 台進行の場合, 3 番ダブルスと 4 番または 5 番シングルスが同時にできる場合は行う。
4 番または 5 番がダブルスより先に終わり, 勝敗がついた場合でもダブルスは最後まで行う。
- ☐ オーダー用紙は対戦相手が決まり次第すみやかに提出する。(第 1 試合は 8 時 5 0 分までに提出)
- ☐ 放送に十分注意し, 試合開始に遅れないようにする。(試合を滞らせない)
- ☐ 第 1 試合は放送による一斉スタート (整列を速やかに)

5 審判

- ☐ トーナメント第1試合および決勝リーグは相互審判、以後トーナメントは敗者審判
- ☐ 審判員は得点の記入を正確に行う。試合終了後は敗者に対戦記録用紙を渡す。
- ☐ 試合終了後、敗者は、対戦記録用紙を進行係へすみやかに提出する。
敗者審判になる場合は、進行係から次の対戦記録用紙をもらう。
- ☐ 試合が終わったら、審判員は、筆記具、ボールはコートに置いてある審判用かごへ戻す。
- ☐ 審判員は、しっかりボールを見て、正しい判定・コールを行うこと。
ネット、エッジ等見落とさないように注意する。
- ☐ 審判員は、ストップウォッチで時間計測し、試合の管理をする。
(計測時間：練習時間1分※1、ゲーム間の休憩1分、タイムアウト1分、促進ルール適用10分) また、試合の流れを滞らせないように、スロープレーへきちんと対応する。
- ☐ カウント器は胸の高さに持ち上げる。(周囲に得点が見えるようにする)

6 アドバイザー・ベンチ

- ☐ ベンチには監督および学校対抗の登録選手のみしか入れない。
監督および登録選手は床に座る。(観客席から見えないので立たない) 団体エントリー登録選手以外は観客席から応援する。若番チームがステージ向かって右側または手前側
- ☐ 該当の試合に関係ない者は競技領域内に立ち入らない。
(試合が終わったら速やかにコートから出る)
- ☐ 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いて いつでもアドバイスを受けることができる。
→選手およびアドバイザーが、競技領域(含ベンチ)において、携帯電話、タブレット等で通信する行為を厳禁する。これらの機器で動画を撮影することは可能であるが、その場合も三脚に固定してあるものを1台のみとする。アドバイザーが手持ちで動画撮影をしていた場合は本部からの指導対象となりえる。
- ☐ ベンチにはいる者は白色の服装を避けること。

7 バッドマナー

- ☐ 競技者またはアドバイザーは相手競技者に対して不当な影響を与えたり、観客に不快感を与えるような態度を慎まなければならない。そのような違反行為を行った場合相手競技者にポイントが与えられたり、競技領域から遠ざけられる等のペナルティーがかせられる。特に、ラリーとラリーの間のアドバイス等で相手選手・ベンチへの誹謗中傷などはしてはならない。
- ☐ ポイントが決定した後は、速やかに次のサービス、あるいはレシーブの体勢をとり、みだりに時間をとるようなことなく、競技のスピードアップをはかること。(5秒ルール)

8 代表権

- ☐ 男女1, 2位のチームは, 関東選抜大会へ (R7/12/24~26 茨城県水戸市)
- ☐ 男女3, 4位のチームは, 関東新人大会へ (R7/12/24~26 茨城県水戸市)

9 その他

- ☐ 自校の番号・試合番号を把握しておくこと。
- ☐ 使用コートは24台で行う。開会式前の練習は各校に指定されたコートを使用する。また, 競技中空いている台で練習はしてはならない。(競技に関係ない者は競技エリアに立ち入ってはならない)
- ☐ 放送があったら直ちにコートに入る。
- ☐ 昼食は各自持参して進行状況を見ながらとる。(会場を離れない, 昼食のための時間はとらない)
- ☐ 準備体操をしっかりと, けがの無いようにする。
- ☐ 開会式終了後、競技上の注意等の連絡を行うので, 開会式にはプログラム, 筆記用具を持参すること。
- ☐ 貴重品の管理(盗難注意)
- ☐ 上下履きの区別 ※玄関にある下駄箱は使用しないこと。(各自で下足を管理すること)
- ☐ ゴミは必ず持ち帰ること。
- ☐ ゲーム中の水分補給は, ペットボトルやスクイーズボトルなどふたの閉まる容器を使用すること。

10 大会運営校

- ☐ Dブロック(笛吹・日川・山梨・塩山)

11 選手宣誓校

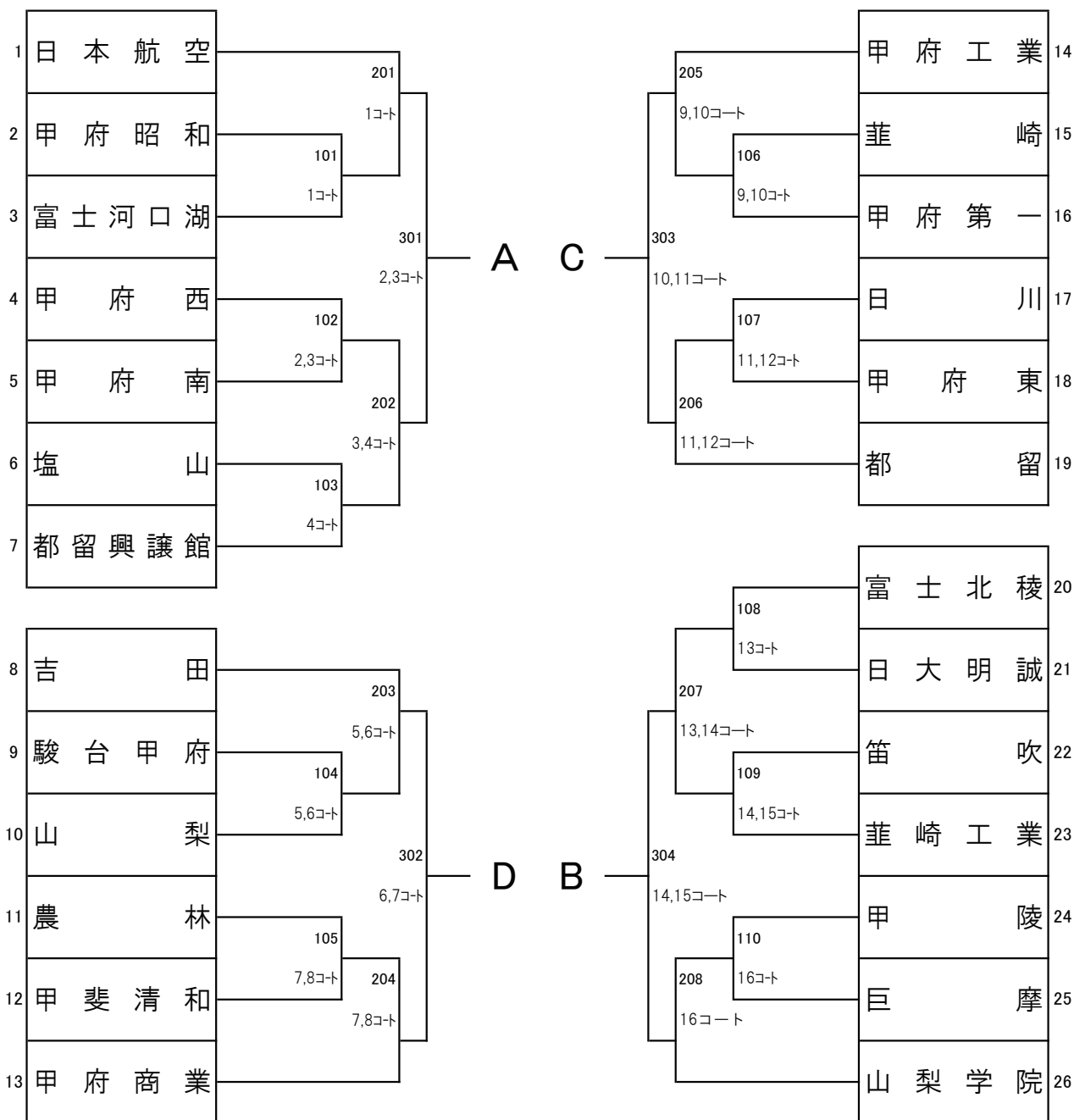
- ☐ 駿台甲府高校

※1について

日本卓球ルールでは, 規定の練習時間は2分と定められているが, 山梨県高体連の大会においては進行上の都合により, 練習時間を1分とする特別ルールを採用している。

男子 学校対抗

10月25日(土)



※1回戦から、3点先取で行います。
 ※使用コートは、進行状況により変更する場合があります。

8	16	24
7	15	23
6	14	22
5	13	21
4	12	20
3	11	19
2	10	18
1	9	17

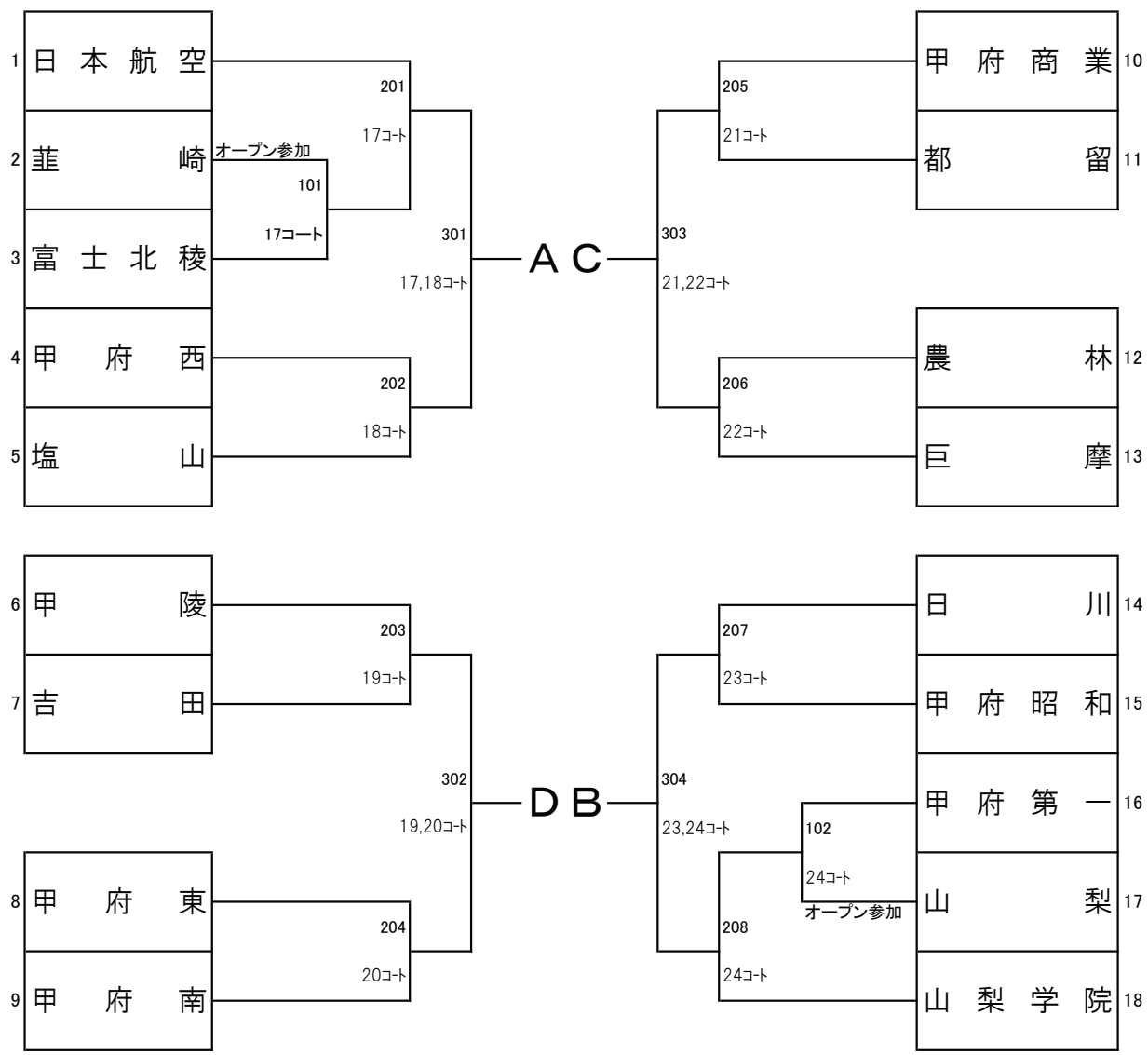
進行席

学校対抗 選手名簿 <男子>

	韭崎 ²	韭崎工業 ³	甲府第一 ⁴	甲府西 ⁵	甲府南 ⁶
監督	竹川 剛	渡辺 健太	山本 尉滋	今村 勇二	小沢 智子
選手	須崎 俊介 2 松本 彪太郎 2 西澤 絢也 2 古屋 蒼太郎 1	千野 匠 2 平井 凌玖斗 2 河西 光琉 1 長田 龍馬 2 小林 和岐 2 穴水 颯 2 井上 絃 2	石塚 蒼良 2 植野 優典 2 飯野 郁斗 2 後藤 陽希 2 小川 隼生 1 小林 葵一 1 徳能 悠真 1	識名 マサキ 2 河野 有梧 1 中澤 奏那 1 風間 一琉 2	橋戸 康佑 2 深沢 宙生 1 石川 遼 2 桑原 大征 1 森澤 僚天 1 尾崎 遥斗 1 厚芝 春輝 2
	甲府東 ⁷	甲府工業 ⁸	甲府昭和 ¹⁰	農林 ¹¹	巨摩 ¹²
監督	渡邊 淳	中沢 雄次	中山 祐人	丸尾 祐樹	塚田 祐史
選手	北原 千聖 2 鈴木 悠斗 2 深澤 龍我 1 岸 将矢 1 神宮司 宝良 1 西田 直樹 1 堀内 拓弥 1	松木 琢馬 2 横澤 有哉 2 小松 大也 2 松谷 真睦 1 伊藤 聡馬 1 若尾 悠也 1 袋井礼空斗 1	遠藤 那由太 2 遠藤 比奈太 2 齊藤 輝之介 1 戸栗 悠太 1	渡辺 蓮音 2 米山 大賀 1 金子 琥太郎 1 川口 仁誠 1 深澤 佑斗 1 秋山 蒼空 1 伊藤 琉 1	笠井 諒人 1 川手 士優 1 高野 秀太 1 長澤 琉希 1 西川 宝 1 三村 レン 1 山田 竹虎 1
	笛吹 ¹⁶	日川 ¹⁷	山梨 ¹⁸	塩山 ¹⁹	都留 ²⁰
監督	藤田 晴彦	初鹿野 たまき	飯窪 千尋	鈴木 駿一郎	坂本 哲朗
選手	岩間 大翔 2 武田 涼牙 2 有泉 一希 2 窪田 奏風 2 小林 空河 1 北野 秀和 1 武井 結翔 1	花輪 駿 2 岡部 拓光 2 河野 英介 2 浦野 隼 1 田草川 結心 1 山口 勇樹 1 舟久保 海生 1	望月 柊 2 山本 響葵 2 遠藤 幹太 1 堀内 ヒカル 1	渡辺 大輝 2 竹下 照祈 1 小林 輝 1 土屋 龍雅 1	高部 恵佑 2 小田 湊 2 畠山 漣音 2 山口 大翔 1 吉角 拓斗 1 古屋 湧真 1 細田 友誠 1
	都留興譲館 ²²	吉田 ²³	富士北稜 ²⁴	富士河口湖 ²⁵	甲府商業 ²⁵
監督	志村 秀和	伊藤 隆師	流石 善夫	米山 史洋	青木 真一
選手	一ノ宮 徠翔 1 相馬 昊成 1 原田 雄一 1 齋藤 幸平 1 羽田 京平 1 堀田 朋希 2	中野 友葵 2 小佐野 賢 2 下垣 想太 2 外川 大翔 2 岡林 諒 1 丸山 胡太郎 1 中島 幹太 1	赤澤 宗汰 2 澤海 玲衣 1 堀口 紅輝 1 山下 碧空 2 刑部 蒼空 2 小宮 遼大 2 松崎 凉羽 2	外川 礼唯 2 梶原 唯翔 2 高村 來愛 2 堀内 星良 2 安井 陸翔 2 渡邊 駿太 2 渡邊 友翔 2	望月 奏良 2 秋山 灯馬 2 望月 煌生 2 依田 海斗 2 渡辺 晃生 2 興石 周吟 1
	甲陵 ²⁷	甲斐清和 ³⁸	駿台甲府 ⁴¹	山梨学院 ⁴³	日本航空 ⁴⁵
監督	河西 邦仁	笹本 直子	牧 和弘	堀 卓央 ○	深澤 凱基
選手	植山 幹温 2 茅野 琥有斗 2 町山 哲生 1 若山 隆太 1	渡邊 晃生 2 河西 祐希人 1 中澤 光希 1 小澤 侑真 1	古屋 拓海 2 橋田 朋英 1 谷井 宏成 1 水野 佑月 1	熊木 隆仁 2 鳥島 幸太 2 関原 晴海 2 岩瀬 トシユキ 1 大平 悠人 1 岩田 悠助 1 廣瀬 晴也 1	佐々木 優輔 2 大江 璃旺 1 中山 竣太 1 岡本 悠希 1 金子 将明 1
	日大明誠 ⁴⁸				
監督	新 未来渡				
選手	原川 慎輝 2 酒井 皇誠 1 笹田 春輝 1 前田 朋希 1 松岡 隼輝 1				

女子 学校対抗

10月25日(土)



8	16	24
7	15	23
6	14	22
5	13	21
4	12	20
3	11	19
2	10	18
1	9	17

進行席

※1回戦から、3点先取で行います。
※使用コートは、進行状況により変更する場合があります。

学校対抗 選手名簿 <女子>

	2	4	5	6	7
監督	韭崎 岡田 昇	甲府第一 長田 猛	甲府西 中村 光	甲府南 剣持 芳江	甲府東 松土 友紀
選手	小黑 八恵 2 小林 麗和 1 ※オープン参加	若月 果乃 2 生田 あみ 1 網倉 梨紗 1 河野 莉良 1 竹田 絢奈 1 井原 杏菜 1 柳場 藍衣 1	青木 優奈 2 小倉 彩花里 2 五味 らら 2 太田 陽彩 1 飯島 綾夏 1	長田 幸穂 2 中山 弥 1 山本 美結 2 佐野 なつ希 1	村松 蒼唯 2 小野 祐希 2 小林 悠花 2 宇山 颯月 2 佐藤 奈々 1 秋山 真麻 1
監督	10 甲府昭和 矢崎 紀香	11 農林 塩野 哲男	12 巨摩 杉田 裕一	17 日川 風間 栄一	18 山梨 五味 明美
選手	河田 実侑 2 河野 心沙 2 末木 乃々華 2 井上 優奈 2 石川 菜月 1	宮川 玲美 2 中村 瑛梨 1 雨澤 唯来 1 花形 結愛 2 下村 彩愛 1 山丸 菜心 2	深沢 華陽 2 大久保 知香 2 山下 倖奈 2 飯久保 理紗 1 佐野 羽海 1	水口 咲良 2 鶴田 みやび 2 中西 兎月 2 小野 晴陽 1 三枝 優果 1	若月 紗也香 2 萩原 芙美 2 内田 有咲 2 ※オープン参加
監督	19 塩山 井川 博人	20 都留 木内 政美	23 吉田 赤池 和佳奈	24 富士北稜 堀内 寛子	26 甲府商業 荒木 裕治
選手	遠藤 彩未 2 井上 莉杏 2 増田 柚々香 2 廣瀬 香織 1	小林 ゆい 2 菊地 珠理 2 眞田 乃愛 2 中谷 史歩 2 佐藤 倖 1 アンダモ シャニヤ 1 井上 碧 1	堀内 海羽 2 小野田 侑奈 2 樫村 莉子 2 田邊 凜 2 渡邊 彩 2 渡邊 優茉 2 竹田 沙樹 1	坂牛 つくし 2 堀内 星那 1 渡邊 結菜 1 平井 愛柚心 1 細川 真優 1	興石 颯花 2 望月 ミチル 2 丹沢 芽彩 1 樋渡 紗空 1 宮下 眞和 1 渡邊 愛来 1
監督	27 甲陵 河西 邦仁	43 山梨学院 神山 瑤	46 日本航空 〇 河西 辰也		
選手	磯部 栞 2 天野 光悠 2 笠原 暖子 2 牛山 栞名 2 小菅 和奏 2 八代 彩 2 野澤 陽々葵 1	村松 莉衣奈 2 廣瀬 愛心 2 市川 紗帆 1 窪田 奈那子 1 渡邊 鈴菜 1	新田 乙花 2 鈴木 華実 2 青山 ふゆ子 2 谷内 花奏 2 新井 真央 1 福田 七彩 1 川尻 さくら子 1		

学校対抗 男子

1－4位順位決定

						勝敗	順位
A						-	
B						-	
C						-	
D						-	

試合順序 リーグ ①試合目 A－D, B－C
 リーグ ②試合目 A－C, B－D
 リーグ ③試合目 A－B, C－D

1位	2位	
3位	4位	

学校対抗 女子

1－4位順位決定

						勝敗	順位
A						-	
B						-	
C						-	
D						-	

試合順序 リーグ ①試合目 A－D, B－C
 リーグ ②試合目 A－C, B－D
 リーグ ③試合目 A－B, C－D

1位	2位	
3位	4位	

1 審判員の任務（敗者審判で1人で審判を行う場合）

一般的な流れをまとめました。

- ①試合終了後、審判員から対戦記録用紙（バインダー）をもらい、進行席へすみやかに提出する。
→・すみやかに進行席に持っていくことがポイント！
 - ・試合終了後、顧問の先生の所へ報告に行くよりも前に進行席に提出すること。
 - すみやかに提出しないと試合の進行が遅れていきます。
- ②進行席で担当する対戦記録用紙をもらい、審判をするコートへ入る。
→・顧問の先生の所へ報告に行く場合は、対戦記録用紙をもらってから行くこと。
ただし、選手を待たさないようにコートへ入ること。
- ③選手が来る前にコート整備やボール、審判グッズ（ストップウォッチ、ネットハイ、筆記用具）の確認をする。
→・ネットハイを使って、ネットの張りや高さを毎試合ごとに確認する。
- ④選手が来たら、ゼッケンで名前を確認
→・選手がなかなか集まらない（進行で最初の呼び出しをしてから3分経っても集まらない）場合は、進行席に行き呼び出しをしてもらいましょう。
 - ・ユニフォームの色で選手を覚えておこう。
- ⑤両選手が集まったら、選手を中央に呼び寄せ、まずじゃんけんをして、サーブ、レシーブ、エンドの選択をする。
→・普段皆さんは、練習をしてからじゃんけんをしていると思いますが、正式な試合では先にじゃんけんをしてサーブ、レシーブを決めるのが一般的な流れです。
 - ・サーブ、レシーブが決まったら、対戦記録用紙の「S・R」に○をつけましょう。
 - 途中でサーブレシーブの順序がわからなくなったときに解決するのに必要です。
- ⑥練習1分をストップウォッチで計測する。
→・ストップウォッチで時間を計測すること。ダラダラ練習を行っていると試合の進行がどんどん遅れていきます。
 - ・日本卓球ルールでは練習2分となっていますが、山梨県高体連主催大会では練習は1分と決まっています。
 - ・練習後にアドバイスを受けることはできません。練習後はすみやかに試合開始してください。
- ⑦練習が終わったら、すぐに第1ゲーム開始。
→・ラブオールでストップウォッチで時間の計測を開始してください。
10分間経過したときに、得点の和が18点未満の場合は促進ルールを適用します。
長い試合だなあ・・・と感じたらストップウォッチを確認しましょう。
- ⑧第1ゲーム終了から第2ゲーム開始まで（ゲーム間の休憩すべきこと）
→・ゲーム間は1分間です。1分を計測してください。
 - ・スコアの記録を対戦記録用紙にしてください。書き間違えに注意してください。
 - ・ボールを転がっていかないように確保しましょう。
 - ・1分間が経過したら「時間です 戻ってください」と言って両選手を呼び戻しましょう。
- ⑨試合終了後にすべきこと
→・記録用紙へゲームポイント、マッチポイントを記入し、敗者に対戦記録用紙を渡す。
 - ・ストップウォッチやボール、筆記用具をかごに戻す。

2 カウンタ器の表示 (カウンタ器の表示の仕方はルールブックで次のように決められています。)

① [競技者到着前]

カウンタを、ゲームスコアも得点も何も示さない状態にする。(図1)

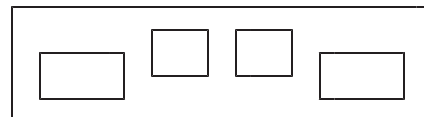


図1 競技者到着前

② [競技者到着]

競技者が到着したらゲームスコアの表示を0-0にする。
主審のラプオールのコールまでこのままの状態にする。(図2)

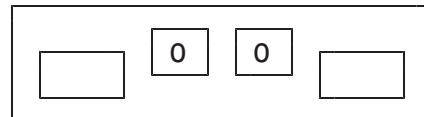


図2 競技者到着

③ [第1ゲーム開始]

主審のラプオールのコールでポイントを0-0にする。(図3)

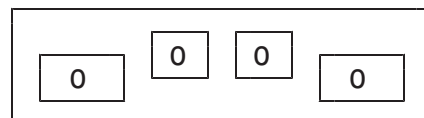
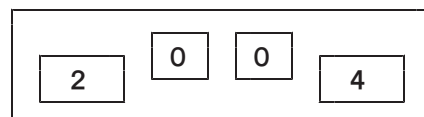


図3 第1ゲーム開始

④ [6本ごと]

6ポイントごと および ゲーム終了後にカウンタ器を高く上げ
45度回転させ観客等に見せる。



⑤ [第1ゲーム終了時]

ゲーム終了時、結果をスコアカードに記入する。
カウンタはしばらく最後のポイントを示したままにする。(図4)

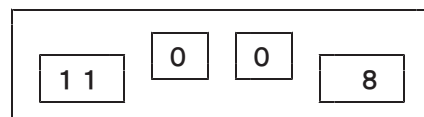


図4 第1ゲーム終了時

⑥ [第2ゲーム直前]

競技者が戻る直前にポイントスコアを何もない状態に戻し、
ゲームスコアにゲームカウントを示す。(図5)

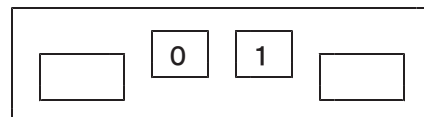


図5 第2ゲーム直前

⑦ [第2ゲーム開始]

主審のラプオールのコールでポイントを0-0にする。(図6)

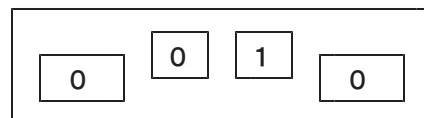


図6 第2ゲーム開始

⑧ [試合終了時]

試合終了時、カウンタは最後のポイントと前のゲームカウントを
表示しておく。(図7)

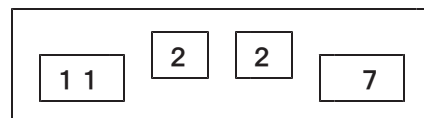


図7 試合終了時

⑨ その他

(1) 手前からめくる

(2) ファイナル・ゲームでどちらかが5に達したときのカウンタ器の操作
→ポイントスコアが5に達した方のポイントスコアカードを、5に達していないポイント
スコアにし、次にポイントスコアが5に達していない方のポイントスコアを5にする。



(カウンタ器を180度回転することはない)

(3) ポイントスコアカードに次に表示するカードがない場合は両方ポイントスコアから
10を引いたポイントスコアを 1□-1△ として表示する